

表 2. 職業性ストレス簡易調査票得点ならびに努力／報酬不均衡得点 (N=5, 152)

	男性 (n=2576)	女性 (n=2576)	合計 (n=5152)
量的負担	2.3 (0.7)	2.5 (0.7)	2.4 (0.7)
質的負担	2.3 (0.6)	2.5 (0.7)	2.4 (0.7)
身体的負担度	2.7 (0.9)	2.8 (1.0)	2.8 (1.0)
対人関係	2.6 (0.5)	2.7 (0.5)	2.6 (0.5)
職場環境	2.7 (0.8)	2.7 (0.9)	2.8 (0.9)
仕事のコントロール	2.4 (0.6)	2.5 (0.7)	2.4 (0.7)
仕事の適正	2.3 (0.8)	2.1 (0.8)	2.2 (0.8)
技能の活用	2.8 (0.8)	2.7 (0.8)	2.7 (0.8)
仕事の意義	2.4 (0.8)	2.3 (0.9)	2.3 (0.8)
上司のサポート	2.7 (0.7)	2.8 (0.7)	2.7 (0.7)
同僚のサポート	2.6 (0.7)	2.5 (0.7)	2.5 (0.7)
家族友人のサポート	2.1 (0.8)	1.8 (0.7)	2.0 (0.8)
心理的ストレス反応	1.8 (0.7)	1.9 (0.6)	1.8 (0.6)
身体的ストレス反応	1.8 (0.7)	1.9 (0.6)	1.8 (0.6)
仕事の満足度	2.5 (0.8)	2.4 (0.8)	2.4 (0.8)
家庭の満足度	2.2 (0.8)	2.1 (0.8)	2.2 (0.8)
努力報酬不均衡比	1.1 (0.3)	1.0 (0.3)	1.0 (0.3)
月当たり残業時間 (時間)	28.5 (41.9)	14.1 (34.2)	21.3 (38.9)

表 3. 仕事のパフォーマンスと1ヶ月あたりの疾病休業日数 (N=5, 152)

	n	平均	標準偏差
仕事のパフォーマンス			
男性	2576	6.7	1.9
女性	2576	6.9	1.9
合計	5152	6.8	1.9
身体的問題による1ヶ月あたりの疾病休業 (日)			
男性	2576	0.8	2.7
女性	2576	0.7	2.5
合計	5152	0.8	2.6
精神的問題による1ヶ月あたりの疾病休業 (日)			
男性	2576	0.4	2.2
女性	2576	0.3	1.6
合計	5152	0.3	1.9

表 4. 受療中の疾患 (N=5, 152)

	男性	女性	合計
	(n=2576)	(n=2576)	(N=5152)
	n (%)	n (%)	n (%)
アレルギーによる疾患	347 (13.5)	525 (20.4)	872 (16.9)
胃腸の病気	131 (5.1)	197 (7.6)	328 (6.4)
気管支喘息	71 (2.8)	85 (3.3)	156 (3.0)
腰痛	553 (21.5)	725 (28.1)	1278 (24.8)
首の不調 (肩こり等)	654 (25.4)	1275 (49.5)	1929 (37.4)
心臓病 (不整脈、狭心症)	60 (2.3)	77 (3.0)	137 (2.7)
うつ病、不安または情緒不安定	146 (5.7)	178 (6.9)	324 (6.3)
糖尿病	105 (4.1)	30 (1.2)	135 (2.6)
関節炎、関節の痛み	197 (7.6)	241 (9.4)	438 (8.5)
片頭痛／慢性の頭痛	212 (8.2)	571 (22.2)	783 (15.2)
聴力の低下	284 (11.0)	346 (13.4)	630 (12.2)
眼の病気	124 (4.8)	166 (6.4)	290 (5.6)
皮膚の病気	191 (7.4)	225 (8.7)	416 (8.1)
その他	75 (2.9)	97 (3.8)	172 (3.3)

表 5. 1ヶ月あたりの医療費 平均 (標準偏差) 単位：円 (N=5, 152)

	身体疾患	精神疾患	合計
入院外医療費	93321 (3884.1)	10365 (4480.0)	125590 (8760.4)
入院医療費	101079 (2939.6)	4064 (4061.2)	179480 (31066.8)
産業保健サービス費			318 (412.1)
合計			329260 (37750.8)

表 6. ストレスチェック制度に対する意識・態度：合計 (N=5,152)

過去3年以内にストレスチェックを実施			
	度数	パーセント	有効パーセント
はい、事業場でストレスチェックを実施しており、自分も受けた	846	16.4	24.0
はい、事業場でストレスチェックを実施しているが、自分は受けなかった	136	2.6	3.9
いいえ、事業場でストレスチェックを実施したことはない	2257	43.8	64.1
わからない	284	5.5	8.1
合計	3523	68.4	100.0
欠損値*	1629	31.6	
合計	5152	100.0	
*2015年11月実施の調査では本項目を聴取していないため欠損扱いとした			
ストレスチェックが自分たちの健康管理上有用と感じますか			
	度数	パーセント	有効パーセント
はい	1830	35.5	35.5
いいえ	1063	20.6	20.6
どちらとも言えない	2259	43.8	43.8
合計	5152	100.0	100.0
もし自分が高ストレスと判定された場合、医師の面接を受けることを希望するでしょうか			
	度数	パーセント	有効パーセント
面接を希望します	503	9.8	9.8
おそらく面接を希望します	2107	40.9	40.9
おそらく面接を希望しません	1797	34.9	34.9
面接を希望しません	745	14.5	14.5
合計	5152	100.0	100.0
ストレスチェックが職場で実施された場合、あなたは本当の自分の状態を回答しますか			
	度数	パーセント	有効パーセント
本当のことを回答すると思う	2006	38.9	38.9
おおむね、本当のことを回答すると思う	2717	52.7	52.7
本当のこととは違ったことを回答すると思う	429	8.3	8.3
合計	5152	100.0	100.0
ストレスチェックの際に大事だと思うこと			
	度数	パーセント	
記入する質問票が簡単であること	2863	55.6	
ホームページなどからいつでも行えること	1767	34.3	
事業場の衛生委員会などで実施が審議・決定されていること	553	10.7	
ストレスチェックが効果的であることを事前に教えてもらえること	1325	25.7	
自分の書いた内容が、医師や保健師等以外の者には見られないこと	2473	48.0	
精神科医など専門家が面接してくれること	1573	30.5	
高ストレスと判定された場合、ストレスへの対処法なども教えてもらえること	1906	37.0	
高ストレスと判定された場合、医療機関を受診するかどうかは自分で決められること	1209	23.5	
職場環境などの改善に活用されること	1772	34.4	
その他	47	.9	
わからない	337	6.5	
特になし	477	9.3	
ストレスチェックの際に心配に思うこと			
	度数	パーセント	
ストレスチェック質問票に記入する時間や労力が負担になること	1342	26.0	
ストレスチェック質問票に回答した内容が、会社に漏れてしまうかもしれないこと	2277	44.2	
高ストレスと判定された場合、しつこく呼び出しを受けるかもしれないこと	1538	29.9	
ストレスチェックを受けないことで、会社で差別や不利益な取り扱いをされること	997	19.4	
ストレスチェックへの回答内容によって、会社で不利益な取り扱いをされること	1951	37.9	
高ストレスと判定された場合に医師面接を申し出ることができるが、申し出たことで会社で不利益な取り扱いをされること	1321	25.6	
高ストレスと判定された場合の医師面接の結果は会社に伝わることになって いるため、会社で不利益な取り扱いをされること	1340	26.0	
その他	35	.7	
わからない	490	9.5	
特になし	923	17.9	

表 7. ストレスチェック制度に対する意識・態度：性別 (N=5,152)

過去3年以内にストレスチェックを実施

	性別		合計
	男性	女性	
はい、事業場でストレスチェックを実施しており、自分も受け	589 27.8%	257 18.3%	846 24.0%
はい、事業場でストレスチェックを実施しているが、自分は受	90 4.2%	46 3.3%	136 3.9%
いいえ、事業場でストレスチェックを実施したことはない	1282 60.5%	975 69.4%	2257 64.1%
わからない	158 7.5%	126 9.0%	284 8.1%
合計	2119 100.0%	1404 100.0%	3523 100.0%

ストレスチェックが自分たちの健康管理上有用と感じますか

	性別		合計
	男性	女性	
はい	943 36.6%	887 34.4%	1830 35.5%
いいえ	554 21.5%	509 19.8%	1063 20.6%
どちらとも言えない	1079 41.9%	1180 45.8%	2259 43.8%
合計	2576 100.0%	2576 100.0%	5152 100.0%

もし自分が高ストレスと判定された場合、医師の面接を受けることを希望するでしょうか

	性別		合計
	男性	女性	
面接を希望します	268 10.4%	235 9.1%	503 9.8%
おそらく面接を希望します	1029 39.9%	1078 41.8%	2107 40.9%
おそらく面接を希望しません	874 33.9%	923 35.8%	1797 34.9%
面接を希望しません	405 15.7%	340 13.2%	745 14.5%
合計	2576 100.0%	2576 100.0%	5152 100.0%

ストレスチェックが職場で実施された場合、あなたは本当の自分の状態を回答しますか

	性別		合計
	男性	女性	
本当のことを回答すると思う	1055 41.0%	951 36.9%	2006 38.9%
おおむね、本当のことを回答すると思う	1311 50.9%	1406 54.6%	2717 52.7%
本当のこととは違ったことを回答すると思う	210 8.2%	219 8.5%	429 8.3%
合計	2576 100.0%	2576 100.0%	5152 100.0%

ストレスチェックの際に大事だと思うこと

	性別		合計
	男性	女性	
記入する質問票が簡単であること	1406 54.6%	1457 56.6%	2863 55.6%
ホームページなどからいつでも行えること	815 31.6%	952 37.0%	1767 34.3%
事業場の衛生委員会などで実施が審議・決定されていること	296 11.5%	257 10.0%	553 10.7%
ストレスチェックが効果的であることを事前に教えてもらえること	664 25.8%	661 25.7%	1325 25.7%
自分の書いた内容が、医師や保健師等以外の者には見られないこと	1009 39.2%	1464 56.8%	2473 48.0%
精神科医など専門家が面接をしてくれること	699 27.1%	874 33.9%	1573 30.5%
高ストレスと判定された場合、ストレスへの対処法なども教えてもらえること	817 31.7%	1089 42.3%	1906 37.0%
高ストレスと判定された場合、医療機関を受診するかどうかは自分で決められること	481 18.7%	728 28.3%	1209 23.5%
職場環境などの改善に活用されること	738 28.6%	1034 40.1%	1772 34.4%
その他	22 .9%	25 1.0%	47 .9%
わからない	196 7.6%	141 5.5%	337 6.5%
特にない	324 12.6%	153 5.9%	477 9.3%

ストレスチェックの際に心配に思うこと

	性別		合計
	男性	女性	
ストレスチェック質問票に記入する時間や労力が負担になること	700 27.2%	642 24.9%	1342 26.0%
ストレスチェック質問票に回答した内容が、会社に漏れてしまうかもしれないこと	929 36.1%	1348 52.3%	2277 44.2%
高ストレスと判定された場合、しつこく呼び出しを受けるかもしれないこと	692 26.9%	846 32.8%	1538 29.9%
ストレスチェックを受けないことで、会社で差別や不利益な取り扱いをされること	500 19.4%	497 19.3%	997 19.4%
ストレスチェックへの回答内容によって、会社で不利益な取り扱いをされること	857 33.3%	1094 42.5%	1951 37.9%
高ストレスと判定された場合に医師面接を申し出ることができるが、申し出たことで会社で不利益な取り扱いをされること	579 22.5%	742 28.8%	1321 25.6%
高ストレスと判定された場合の医師面接の結果は会社に伝わることになっているため、会社で不利益な取り扱いをされること	540 21.0%	800 31.1%	1340 26.0%
その他	14 .5%	21 .8%	35 .7%
わからない	264 10.2%	226 8.8%	490 9.5%
特にない	573 22.2%	350 13.6%	923 17.9%

表8 ストレスチェック制度に対する意識・態度：年齢別 (N=5,152)

過去3年以内にストレスチェックを実施

	年齢5区分					合計
	18-29	30-39	40-49	50-59	60+	
はい、事業場でストレスチェックを実施しており、自分も受け	209	236	214	165	22	846
	25.9%	25.7%	23.1%	23.1%	13.9%	24.0%
はい、事業場でストレスチェックを実施しているが、自分は受	35	43	34	18	6	136
	4.3%	4.7%	3.7%	2.5%	3.8%	3.9%
いいえ、事業場でストレスチェックを実施したことはない	488	566	615	470	118	2257
	60.5%	61.7%	66.4%	65.7%	74.7%	64.1%
わからない	74	73	63	62	12	284
	9.2%	8.0%	6.8%	8.7%	7.6%	8.1%
合計	806	918	926	715	158	3523
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

ストレスチェックが自分たちの健康管理上有用と感じますか

	年齢5区分					合計
	18-29	30-39	40-49	50-59	60+	
はい	507	467	437	336	83	1830
	39.4%	36.3%	33.9%	32.9%	31.2%	35.5%
いいえ	284	274	254	192	59	1063
	22.0%	21.3%	19.7%	18.8%	22.2%	20.6%
どちらとも言えない	497	547	597	494	124	2259
	38.6%	42.5%	46.4%	48.3%	46.6%	43.8%
合計	1288	1288	1288	1022	266	5152
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

もし自分が高ストレスと判定された場合、医師の面接を受けることを希望するでしょうか

	年齢5区分					合計
	18-29	30-39	40-49	50-59	60+	
面接を希望します	122	129	132	93	27	503
	9.5%	10.0%	10.2%	9.1%	10.2%	9.8%
おそらく面接を希望します	515	543	519	434	96	2107
	40.0%	42.2%	40.3%	42.5%	36.1%	40.9%
おそらく面接を希望しません	464	446	442	345	100	1797
	36.0%	34.6%	34.3%	33.8%	37.6%	34.9%
面接を希望しません	187	170	195	150	43	745
	14.5%	13.2%	15.1%	14.7%	16.2%	14.5%
合計	1288	1288	1288	1022	266	5152
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

ストレスチェックが職場で実施された場合、あなたは本当の自分の状態を回答しますか

	年齢5区分					合計
	18-29	30-39	40-49	50-59	60+	
本当のことを回答すると思う	510	500	507	383	106	2006
	39.6%	38.8%	39.4%	37.5%	39.8%	38.9%
おおむね、本当のことを回答すると思う	647	677	687	560	146	2717
	50.2%	52.6%	53.3%	54.8%	54.9%	52.7%
本当のこととは違ったことを回答すると思う	131	111	94	79	14	429
	10.2%	8.6%	7.3%	7.7%	5.3%	8.3%
合計	1288	1288	1288	1022	266	5152
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

ストレスチェックの際に大事だと思うこと

	年齢5区分					合計
	18-29	30-39	40-49	50-59	60+	
記入する質問票が簡単であること	704 54.7%	733 56.9%	720 55.9%	560 54.8%	146 54.9%	2863 55.6%
ホームページなどからいつでも行えること	458 35.6%	432 33.5%	458 35.6%	339 33.2%	80 30.1%	1767 34.3%
事業場の衛生委員会などで実施が審議・決定されていること	156 12.1%	155 12.0%	116 9.0%	100 9.8%	26 9.8%	553 10.7%
ストレスチェックが効果的であることを事前に教えてもらえること	345 26.8%	337 26.2%	333 25.9%	231 22.6%	79 29.7%	1325 25.7%
自分の書いた内容が、医師や保健師等以外の者には見られないこと	650 50.5%	602 46.7%	619 48.1%	497 48.6%	105 39.5%	2473 48.0%
精神科医など専門家が面接をしてもらえること	414 32.1%	397 30.8%	397 30.8%	287 28.1%	78 29.3%	1573 30.5%
高ストレスと判定された場合、ストレスへの対処法なども教えてもらえること	490 38.0%	469 36.4%	480 37.3%	376 36.8%	91 34.2%	1906 37.0%
高ストレスと判定された場合、医療機関を受診するかどうかは自分で決められること	300 23.3%	296 23.0%	309 24.0%	230 22.5%	74 27.8%	1209 23.5%
職場環境などの改善に活用されること	463 35.9%	469 36.4%	449 34.9%	323 31.6%	68 25.6%	1772 34.4%
その他	14 1.1%	18 1.4%	9 .7%	6 .6%	0 .0%	47 .9%
わからない	72 5.6%	68 5.3%	92 7.1%	83 8.1%	22 8.3%	337 6.5%
特になし	108 8.4%	116 9.0%	115 8.9%	102 10.0%	36 13.5%	477 9.3%

ストレスチェックの際に心配に思うこと

	年齢5区分					合計
	18-29	30-39	40-49	50-59	60+	
ストレスチェック質問票に記入する時間や労力が負担になること	341 26.5%	368 28.6%	338 26.2%	253 24.8%	42 15.8%	1342 26.0%
ストレスチェック質問票に回答した内容が、会社に漏れてしまうかもしれないこと	626 48.6%	595 46.2%	563 43.7%	411 40.2%	82 30.8%	2277 44.2%
高ストレスと判定された場合、しつこく呼び出しを受けるかもしれないこと	436 33.9%	399 31.0%	395 30.7%	255 25.0%	53 19.9%	1538 29.9%
ストレスチェックを受けないことで、会社で差別や不利益な取り扱いをされること	271 21.0%	258 20.0%	248 19.3%	179 17.5%	41 15.4%	997 19.4%
ストレスチェックへの回答内容によって、会社で不利益な取り扱いをされること	526 40.8%	526 40.8%	490 38.0%	337 33.0%	72 27.1%	1951 37.9%
高ストレスと判定された場合に医師面接を申し出ることができるが、申し出たことで会社で不利益な取り扱いをされること	352 27.3%	332 25.8%	350 27.2%	242 23.7%	45 16.9%	1321 25.6%
高ストレスと判定された場合の医師面接の結果は会社に伝わることになっているため、会社で不利益な取り扱いをされること	344 26.7%	351 27.3%	339 26.3%	258 25.2%	48 18.0%	1340 26.0%
その他	7 .5%	10 .8%	12 .9%	5 .5%	1 .4%	35 .7%
わからない	106 8.2%	104 8.1%	124 9.6%	118 11.5%	38 14.3%	490 9.5%
特になし	201 15.6%	197 15.3%	228 17.7%	207 20.3%	90 33.8%	923 17.9%

表9 ストレスチェック制度に対する意識・態度：学歴別 (N=5,152)

過去3年以内にストレスチェックを実施

	最終学歴	短大・専門学	大学卒	大学院卒以上	その他	合計
	高校卒まで	校・高専卒				
はい、事業場でストレスチェックを実施しており、自分も受け	150	135	466	92	3	846
	17.4%	18.1%	28.2%	38.5%	12.0%	24.0%
はい、事業場でストレスチェックを実施しているが、自分は受	24	27	72	12	1	136
	2.8%	3.6%	4.4%	5.0%	4.0%	3.9%
いいえ、事業場でストレスチェックを実施したことはない	597	517	1008	118	17	2257
	69.3%	69.4%	61.0%	49.4%	68.0%	64.1%
わからない	91	66	106	17	4	284
	10.6%	8.9%	6.4%	7.1%	16.0%	8.1%
合計	862	745	1652	239	25	3523
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

ストレスチェックが自分たちの健康管理上有用と感じますか

	最終学歴	短大・専門学	大学卒	大学院卒以上	その他	合計
	高校卒まで	校・高専卒				
はい	491	424	791	110	14	1830
	32.9%	34.0%	37.8%	39.7%	29.8%	35.5%
いいえ	297	236	457	64	9	1063
	19.9%	18.9%	21.9%	23.1%	19.1%	20.6%
どちらとも言えない	703	586	843	103	24	2259
	47.1%	47.0%	40.3%	37.2%	51.1%	43.8%
合計	1491	1246	2091	277	47	5152
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

もし自分が高ストレスと判定された場合、医師の面接を受けることを希望するでしょうか

	最終学歴	短大・専門学	大学卒	大学院卒以上	その他	合計
	高校卒まで	校・高専卒				
面接を希望します	121	108	225	42	7	503
	8.1%	8.7%	10.8%	15.2%	14.9%	9.8%
おそらく面接を希望します	568	521	877	122	19	2107
	38.1%	41.8%	41.9%	44.0%	40.4%	40.9%
おそらく面接を希望しません	551	440	712	81	13	1797
	37.0%	35.3%	34.1%	29.2%	27.7%	34.9%
面接を希望しません	251	177	277	32	8	745
	16.8%	14.2%	13.2%	11.6%	17.0%	14.5%
合計	1491	1246	2091	277	47	5152
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

ストレスチェックが職場で実施された場合、あなたは本当の自分の状態を回答しますか

	最終学歴	短大・専門学	大学卒	大学院卒以上	その他	合計
	高校卒まで	校・高専卒				
本当のことを回答すると思う	567	472	823	119	25	2006
	38.0%	37.9%	39.4%	43.0%	53.2%	38.9%
おおむね、本当のことを回答すると思う	781	681	1104	130	21	2717
	52.4%	54.7%	52.8%	46.9%	44.7%	52.7%
本当のこととは違ったことを回答すると思う	143	93	164	28	1	429
	9.6%	7.5%	7.8%	10.1%	2.1%	8.3%
合計	1491	1246	2091	277	47	5152
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

ストレスチェックの際に大事だと思うこと

	最終学歴	短大・専門学	大学卒	大学院卒以上	その他	合計
	高校卒まで	校・高専卒				
記入する質問票が簡単であること	840 56.3%	725 58.2%	1118 53.5%	154 55.6%	26 55.3%	2863 55.6%
ホームページなどからいつでも行えること	519 34.8%	447 35.9%	675 32.3%	106 38.3%	20 42.6%	1767 34.3%
事業場の衛生委員会などで実施が審議・決定されていること	152 10.2%	124 10.0%	236 11.3%	34 12.3%	7 14.9%	553 10.7%
ストレスチェックが効果的であることを事前に教えてもらえること	374 25.1%	324 26.0%	528 25.3%	79 28.5%	20 42.6%	1325 25.7%
自分の書いた内容が、医師や保健師等以外の者には見られないこと	679 45.5%	645 51.8%	994 47.5%	130 46.9%	25 53.2%	2473 48.0%
精神科医など専門家が面接をしてくれること	420 28.2%	370 29.7%	666 31.9%	100 36.1%	17 36.2%	1573 30.5%
高ストレスと判定された場合、ストレスへの対処法なども教えてもらえること	541 36.3%	475 38.1%	757 36.2%	110 39.7%	23 48.9%	1906 37.0%
高ストレスと判定された場合、医療機関を受診するかどうかは自分で決められること	371 24.9%	316 25.4%	449 21.5%	60 21.7%	13 27.7%	1209 23.5%
職場環境などの改善に活用されること	465 31.2%	460 36.9%	711 34.0%	114 41.2%	22 46.8%	1772 34.4%
その他	8 .5%	11 .9%	26 1.2%	2 .7%	0 .0%	47 .9%
わからない	133 8.9%	78 6.3%	111 5.3%	13 4.7%	2 4.3%	337 6.5%
特にない	166 11.1%	95 7.6%	186 8.9%	28 10.1%	2 4.3%	477 9.3%

ストレスチェックの際に心配に思うこと

	最終学歴	短大・専門学	大学卒	大学院卒以上	その他	合計
	高校卒まで	校・高専卒				
ストレスチェック質問票に記入する時間や労力が負担になること	375 25.2%	323 25.9%	548 26.2%	79 28.5%	17 36.2%	1342 26.0%
ストレスチェック質問票に回答した内容が、会社に漏れてしまうかもしれないこと	651 43.7%	590 47.4%	901 43.1%	111 40.1%	24 51.1%	2277 44.2%
高ストレスと判定された場合、しつこく呼び出しを受けるかもしれないこと	458 30.7%	398 31.9%	568 27.2%	94 33.9%	20 42.6%	1538 29.9%
ストレスチェックを受けないことで、会社で差別や不利益な取り扱いをされること	264 17.7%	242 19.4%	421 20.1%	63 22.7%	7 14.9%	997 19.4%
ストレスチェックへの回答内容によって、会社で不利益な取り扱いをされること	521 34.9%	493 39.6%	799 38.2%	118 42.6%	20 42.6%	1951 37.9%
高ストレスと判定された場合に医師面接を申し出ることができるが、申し出たことで会社で不利益な取り扱いをされること	377 25.3%	336 27.0%	519 24.8%	78 28.2%	11 23.4%	1321 25.6%
高ストレスと判定された場合の医師面接の結果は会社に伝わることになっているため、会社で不利益な取り扱いをされること	378 25.4%	345 27.7%	519 24.8%	84 30.3%	14 29.8%	1340 26.0%
その他	10 .7%	6 .5%	17 .8%	2 .7%	0 .0%	35 .7%
わからない	186 12.5%	118 9.5%	171 8.2%	13 4.7%	2 4.3%	490 9.5%
特にない	295 19.8%	199 16.0%	367 17.6%	54 19.5%	8 17.0%	923 17.9%

表 10 ストレスチェック制度に対する意識・態度：職種別 (N=5,152)

過去3年以内にストレスチェックを実施

	職種				合計
	管理職	事務職	製造職	その他	
はい、事業場でストレスチェックを実施しており、自分も受け	132	562	100	52	846
	33.8%	24.5%	18.8%	16.9%	24.0%
はい、事業場でストレスチェックを実施しているが、自分は受	19	93	16	8	136
	4.9%	4.1%	3.0%	2.6%	3.9%
いいえ、事業場でストレスチェックを実施したことはない	222	1456	355	224	2257
	56.9%	63.5%	66.7%	72.7%	64.1%
わからない	17	182	61	24	284
	4.4%	7.9%	11.5%	7.8%	8.1%
合計	390	2293	532	308	3523
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

ストレスチェックが自分たちの健康管理上有用と感じますか

	職種				合計
	管理職	事務職	製造職	その他	
はい	182	1056	324	268	1830
	43.8%	35.5%	32.4%	35.3%	35.5%
いいえ	66	643	220	134	1063
	15.9%	21.6%	22.0%	17.7%	20.6%
どちらとも言えない	168	1279	455	357	2259
	40.4%	42.9%	45.5%	47.0%	43.8%
合計	416	2978	999	759	5152
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

もし自分が高ストレスと判定された場合、医師の面接を受けることを希望するでしょうか

	職種				合計
	管理職	事務職	製造職	その他	
面接を希望します	42	292	86	83	503
	10.1%	9.8%	8.6%	10.9%	9.8%
おそらく面接を希望します	180	1249	389	289	2107
	43.3%	41.9%	38.9%	38.1%	40.9%
おそらく面接を希望しません	145	1019	346	287	1797
	34.9%	34.2%	34.6%	37.8%	34.9%
面接を希望しません	49	418	178	100	745
	11.8%	14.0%	17.8%	13.2%	14.5%
合計	416	2978	999	759	5152
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

ストレスチェックが職場で実施された場合、あなたは本当の自分の状態を回答しますか

	職種				合計
	管理職	事務職	製造職	その他	
本当のことを回答すると思う	182	1115	388	321	2006
	43.8%	37.4%	38.8%	42.3%	38.9%
おおむね、本当のことを回答すると思う	209	1577	535	396	2717
	50.2%	53.0%	53.6%	52.2%	52.7%
本当のこととは違ったことを回答すると思う	25	286	76	42	429
	6.0%	9.6%	7.6%	5.5%	8.3%
合計	416	2978	999	759	5152
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

ストレスチェックの際に大事だと思うこと

	職種				合計
	管理職	事務職	製造職	その他	
記入する質問票が簡単であること	234 56.3%	1652 55.5%	542 54.3%	435 57.3%	2863 55.6%
ホームページなどからいつでも行えること	151 36.3%	1018 34.2%	324 32.4%	274 36.1%	1767 34.3%
事業場の衛生委員会などで実施が審議・決定されていること	48 11.5%	340 11.4%	97 9.7%	68 9.0%	553 10.7%
ストレスチェックが効果的であることを事前に教えてもらえること	121 29.1%	726 24.4%	257 25.7%	221 29.1%	1325 25.7%
自分の書いた内容が、医師や保健師等以外の者には見られないこと	173 41.6%	1490 50.0%	426 42.6%	384 50.6%	2473 48.0%
精神科医など専門家が面接をしてくれること	109 26.2%	962 32.3%	260 26.0%	242 31.9%	1573 30.5%
高ストレスと判定された場合、ストレスへの対処法なども教えてもらえること	150 36.1%	1113 37.4%	323 32.3%	320 42.2%	1906 37.0%
高ストレスと判定された場合、医療機関を受診するかどうかは自分で決められること	83 20.0%	712 23.9%	208 20.8%	206 27.1%	1209 23.5%
職場環境などの改善に活用されること	106 25.5%	1083 36.4%	290 29.0%	293 38.6%	1772 34.4%
その他	0 .0%	35 1.2%	6 .6%	6 .8%	47 .9%
わからない	32 7.7%	177 5.9%	79 7.9%	49 6.5%	337 6.5%
特になし	43 10.3%	246 8.3%	132 13.2%	56 7.4%	477 9.3%

ストレスチェックの際に心配に思うこと

	職種				合計
	管理職	事務職	製造職	その他	
ストレスチェック質問票に記入する時間や労力が負担になること	106 25.5%	785 26.4%	253 25.3%	198 26.1%	1342 26.0%
ストレスチェック質問票に回答した内容が、会社に漏れてしまうかもしれないこと	141 33.9%	1349 45.3%	410 41.0%	377 49.7%	2277 44.2%
高ストレスと判定された場合、しつこく呼び出しを受けるかもしれないこと	109 26.2%	892 30.0%	276 27.6%	261 34.4%	1538 29.9%
ストレスチェックを受けないことで、会社で差別や不利益な取り扱いをされること	77 18.5%	607 20.4%	181 18.1%	132 17.4%	997 19.4%
ストレスチェックへの回答内容によって、会社で不利益な取り扱いをされること	128 30.8%	1199 40.3%	336 33.6%	288 37.9%	1951 37.9%
高ストレスと判定された場合に医師面接を申し出ることができるが、申し出たことで会社で不利益な取り扱いをされること	86 20.7%	813 27.3%	215 21.5%	207 27.3%	1321 25.6%
高ストレスと判定された場合の医師面接の結果は会社に伝わることになっているため、会社で不利益な取り扱いをされること	81 19.5%	836 28.1%	217 21.7%	206 27.1%	1340 26.0%
その他	4 1.0%	26 .9%	2 .2%	3 .4%	35 .7%
わからない	43 10.3%	242 8.1%	131 13.1%	74 9.7%	490 9.5%
特になし	105 25.2%	490 16.5%	205 20.5%	123 16.2%	923 17.9%

表 11 ストレスチェック制度に対する意識・態度：事業規模別 (N=5,152)

過去3年以内にストレスチェックを実施

	従業員規模						合計
	50人未満	50~99人	100~299人	300~999人	1000~4999人	5000人以上	
はい、事業場でストレスチェックを実施しており、自分も受け	65 6.3%	81 20.3%	110 20.6%	147 27.3%	204 40.8%	239 45.5%	846 24.0%
はい、事業場でストレスチェックを実施しているが、自分は受	16 1.6%	13 3.3%	22 4.1%	33 6.1%	24 4.8%	28 5.3%	136 3.9%
いいえ、事業場でストレスチェックを実施したことはない	874 85.2%	275 68.8%	357 66.9%	313 58.2%	228 45.6%	210 40.0%	2257 64.1%
わからない	71 6.9%	31 7.8%	45 8.4%	45 8.4%	44 8.8%	48 9.1%	284 8.1%
合計	1026 100.0%	400 100.0%	534 100.0%	538 100.0%	500 100.0%	525 100.0%	3523 100.0%

ストレスチェックが自分たちの健康管理上有用と感じますか

	従業員規模						合計
	50人未満	50~99人	100~299人	300~999人	1000~4999人	5000人以上	
はい	334 32.6%	148 37.0%	184 34.5%	207 38.5%	193 38.6%	203 38.7%	1269 36.0%
いいえ	219 21.3%	92 23.0%	100 18.7%	112 20.8%	123 24.6%	122 23.2%	768 21.8%
どちらとも言えない	473 46.1%	160 40.0%	250 46.8%	219 40.7%	184 36.8%	200 38.1%	1486 42.2%
合計	1026 100.0%	400 100.0%	534 100.0%	538 100.0%	500 100.0%	525 100.0%	3523 100.0%

もし自分が高ストレスと判定された場合、医師の面接を受けることを希望するでしょうか

	従業員規模						合計
	50人未満	50~99人	100~299人	300~999人	1000~4999人	5000人以上	
面接を希望します	102 9.9%	32 8.0%	52 9.7%	53 9.9%	57 11.4%	59 11.2%	355 10.1%
おそらく面接を希望します	413 40.3%	168 42.0%	214 40.1%	217 40.3%	208 41.6%	215 41.0%	1435 40.7%
おそらく面接を希望しません	362 35.3%	141 35.3%	188 35.2%	190 35.3%	177 35.4%	156 29.7%	1214 34.5%
面接を希望しません	149 14.5%	59 14.8%	80 15.0%	78 14.5%	58 11.6%	95 18.1%	519 14.7%
合計	1026 100.0%	400 100.0%	534 100.0%	538 100.0%	500 100.0%	525 100.0%	3523 100.0%

ストレスチェックが職場で実施された場合、あなたは本当の自分の状態を回答しますか

	従業員規模						合計
	50人未満	50~99人	100~299人	300~999人	1000~4999人	5000人以上	
本当のことを回答すると思う	392 38.2%	154 38.5%	210 39.3%	219 40.7%	221 44.2%	206 39.2%	1402 39.8%
おおむね、本当のことを回答すると思う	562 54.8%	213 53.3%	267 50.0%	262 48.7%	248 49.6%	266 50.7%	1818 51.6%
本当のこととは違ったことを回答すると思う	72 7.0%	33 8.3%	57 10.7%	57 10.6%	31 6.2%	53 10.1%	303 8.6%
合計	1026 100.0%	400 100.0%	534 100.0%	538 100.0%	500 100.0%	525 100.0%	3523 100.0%

ストレスチェックの際に大事だと思うこと

	従業員規模						合計
	50人未満	50~99人	100~299人	300~999人	1000~4999人	5000人以上	
記入する質問票が簡単であること	555	234	289	305	276	272	1931
	54.1%	58.5%	54.1%	56.7%	55.2%	51.8%	54.8%
ホームページなどからいつでも行えること	376	124	169	181	184	155	1189
	36.6%	31.0%	31.6%	33.6%	36.8%	29.5%	33.7%
事業場の衛生委員会などで実施が審議・決定されていること	104	50	67	59	52	57	389
	10.1%	12.5%	12.5%	11.0%	10.4%	10.9%	11.0%
ストレスチェックが効果的であることを事前に教えてもらえること	248	102	140	150	111	134	885
	24.2%	25.5%	26.2%	27.9%	22.2%	25.5%	25.1%
自分の書いた内容が、医師や保健師等以外の者には見られないこと	445	175	258	251	223	232	1584
	43.4%	43.8%	48.3%	46.7%	44.6%	44.2%	45.0%
精神科医など専門家が面接をしてくれること	312	115	152	172	137	156	1044
	30.4%	28.8%	28.5%	32.0%	27.4%	29.7%	29.6%
高ストレスと判定された場合、ストレスへの対処法なども教えてもらえること	361	135	194	193	170	167	1220
	35.2%	33.8%	36.3%	35.9%	34.0%	31.8%	34.6%
高ストレスと判定された場合、医療機関を受診するかどうかは自分で決められること	241	92	118	137	101	78	767
	23.5%	23.0%	22.1%	25.5%	20.2%	14.9%	21.8%
職場環境などの改善に活用されること	311	117	206	200	167	170	1171
	30.3%	29.3%	38.6%	37.2%	33.4%	32.4%	33.2%
その他	3	2	7	7	9	6	34
	.3%	.5%	1.3%	1.3%	1.8%	1.1%	1.0%
わからない	85	29	33	26	24	34	231
	8.3%	7.3%	6.2%	4.8%	4.8%	6.5%	6.6%
特になし	107	44	46	54	49	60	360
	10.4%	11.0%	8.6%	10.0%	9.8%	11.4%	10.2%

ストレスチェックの際に心配に思うこと

	従業員規模						合計
	50人未満	50~99人	100~299人	300~999人	1000~4999人	5000人以上	
ストレスチェック質問票に記入する時間や労力が負担になること	248	128	137	136	132	136	917
	24.2%	32.0%	25.7%	25.3%	26.4%	25.9%	26.0%
ストレスチェック質問票に回答した内容が、会社に漏れてしまうかもしれないこと	429	162	223	248	213	203	1478
	41.8%	40.5%	41.8%	46.1%	42.6%	38.7%	42.0%
高ストレスと判定された場合、しつこく呼び出しを受けるかもしれないこと	289	106	148	164	139	157	1003
	28.2%	26.5%	27.7%	30.5%	27.8%	29.9%	28.5%
ストレスチェックを受けないことで、会社で差別や不利益な取り扱いをされること	164	82	99	121	110	99	675
	16.0%	20.5%	18.5%	22.5%	22.0%	18.9%	19.2%
ストレスチェックへの回答内容によって、会社で不利益な取り扱いをされること	351	137	211	210	181	195	1285
	34.2%	34.3%	39.5%	39.0%	36.2%	37.1%	36.5%
高ストレスと判定された場合に医師面接を申し出ることができるが、申し出たことで会社で不利益な取り扱いをされること	248	92	145	149	128	116	878
	24.2%	23.0%	27.2%	27.7%	25.6%	22.1%	24.9%
高ストレスと判定された場合の医師面接の結果は会社に伝わることになっているため、会社で不利益な取り扱いをされること	252	93	141	155	118	132	891
	24.6%	23.3%	26.4%	28.8%	23.6%	25.1%	25.3%
その他	6	0	9	9	1	7	32
	.6%	.0%	1.7%	1.7%	.2%	1.3%	.9%
わからない	110	37	47	44	35	46	319
	10.7%	9.3%	8.8%	8.2%	7.0%	8.8%	9.1%
特になし	225	71	84	100	86	114	680
	21.9%	17.8%	15.7%	18.6%	17.2%	21.7%	19.3%

表 12 ストレスチェック制度に対する意識・態度：雇用形態別 (N=5,152)

過去3年以内にストレスチェックを実施

	雇用形態				合計
	正社員	契約社員	派遣社員	その他	
はい、事業場でストレスチェックを実施しており、自分も受け	754	75	13	4	846
	25.3%	21.4%	8.5%	10.0%	24.0%
はい、事業場でストレスチェックを実施しているが、自分は受	106	16	13	1	136
	3.6%	4.6%	8.5%	2.5%	3.9%
いいえ、事業場でストレスチェックを実施したことはない	1901	223	101	32	2257
	63.8%	63.5%	66.0%	80.0%	64.1%
わからない	218	37	26	3	284
	7.3%	10.5%	17.0%	7.5%	8.1%
合計	2979	351	153	40	3523
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

ストレスチェックが自分たちの健康管理上有用と感じますか

	雇用形態					合計
	正社員	契約社員	派遣社員	パートアルバイト	その他	
はい	1253	129	54	383	11	1830
	37.8%	33.4%	31.8%	31.0%	27.5%	35.5%
いいえ	714	75	30	235	9	1063
	21.5%	19.4%	17.6%	19.0%	22.5%	20.6%
どちらとも言えない	1352	182	86	619	20	2259
	40.7%	47.2%	50.6%	50.0%	50.0%	43.8%
合計	3319	386	170	1237	40	5152
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

もし自分が高ストレスと判定された場合、医師の面接を受けることを希望するでしょうか

	雇用形態					合計
	正社員	契約社員	派遣社員	パートアルバイト	その他	
面接を希望します	346	37	16	99	5	503
	10.4%	9.6%	9.4%	8.0%	12.5%	9.8%
おそらく面接を希望します	1344	169	72	507	15	2107
	40.5%	43.8%	42.4%	41.0%	37.5%	40.9%
おそらく面接を希望しません	1147	136	55	446	13	1797
	34.6%	35.2%	32.4%	36.1%	32.5%	34.9%
面接を希望しません	482	44	27	185	7	745
	14.5%	11.4%	15.9%	15.0%	17.5%	14.5%
合計	3319	386	170	1237	40	5152
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

ストレスチェックが職場で実施された場合、あなたは本当の自分の状態を回答しますか

	雇用形態					合計
	正社員	契約社員	派遣社員	パートアルバイト	その他	
本当のことを回答すると思う	1320	148	65	453	20	2006
	39.8%	38.3%	38.2%	36.6%	50.0%	38.9%
おおむね、本当のことを回答すると思う	1707	205	94	691	20	2717
	51.4%	53.1%	55.3%	55.9%	50.0%	52.7%
本当のこととは違ったことを回答すると思う	292	33	11	93	0	429
	8.8%	8.5%	6.5%	7.5%	.0%	8.3%
合計	3319	386	170	1237	40	5152
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

ストレスチェックの際に大事だと思うこと

	雇用形態					合計
	正社員	契約社員	派遣社員	パートアルバイト	その他	
記入する質問票が簡単であること	1835 55.3%	212 54.9%	110 64.7%	690 55.8%	16 40.0%	2863 55.6%
ホームページなどからいつでも行えること	1109 33.4%	153 39.6%	77 45.3%	413 33.4%	15 37.5%	1767 34.3%
事業場の衛生委員会などで実施が審議・決定されていること	371 11.2%	54 14.0%	14 8.2%	106 8.6%	8 20.0%	553 10.7%
ストレスチェックが効果的であることを事前に教えてもらえること	844 25.4%	102 26.4%	39 22.9%	329 26.6%	11 27.5%	1325 25.7%
自分の書いた内容が、医師や保健師等以外の者には見られないこと	1511 45.5%	192 49.7%	93 54.7%	655 53.0%	22 55.0%	2473 48.0%
精神科医など専門家が面接してくれること	1003 30.2%	114 29.5%	60 35.3%	379 30.6%	17 42.5%	1573 30.5%
高ストレスと判定された場合、ストレスへの対処法なども教えてもらえること	1158 34.9%	149 38.6%	74 43.5%	510 41.2%	15 37.5%	1906 37.0%
高ストレスと判定された場合、医療機関を受診するかどうかは自分で決められること	713 21.5%	92 23.8%	54 31.8%	336 27.2%	14 35.0%	1209 23.5%
職場環境などの改善に活用されること	1119 33.7%	131 33.9%	70 41.2%	435 35.2%	17 42.5%	1772 34.4%
その他	31 .9%	5 1.3%	2 1.2%	8 .6%	1 2.5%	47 .9%
わからない	208 6.3%	23 6.0%	11 6.5%	92 7.4%	3 7.5%	337 6.5%
特になし	330 9.9%	34 8.8%	12 7.1%	101 8.2%	0 .0%	477 9.3%

ストレスチェックの際に心配に思うこと

	雇用形態					合計
	正社員	契約社員	派遣社員	パートアルバイト	その他	
ストレスチェック質問票に記入する時間や労力が負担になること	897 27.0%	95 24.6%	45 26.5%	297 24.0%	8 20.0%	1342 26.0%
ストレスチェック質問票に回答した内容が、会社に漏れてしまうかもしれないこと	1403 42.3%	175 45.3%	84 49.4%	595 48.1%	20 50.0%	2277 44.2%
高ストレスと判定された場合、しつこく呼び出しを受けるかもしれないこと	1000 30.1%	113 29.3%	50 29.4%	364 29.4%	11 27.5%	1538 29.9%
ストレスチェックを受けないことで、会社で差別や不利益な取り扱いをされること	646 19.5%	70 18.1%	36 21.2%	237 19.2%	8 20.0%	997 19.4%
ストレスチェックへの回答内容によって、会社で不利益な取り扱いをされること	1225 36.9%	152 39.4%	80 47.1%	479 38.7%	15 37.5%	1951 37.9%
高ストレスと判定された場合に医師面接を申し出ることができるが、申し出たことで会社で不利益な取り扱いをされること	854 25.7%	107 27.7%	51 30.0%	299 24.2%	10 25.0%	1321 25.6%
高ストレスと判定された場合の医師面接の結果は会社に伝わることになっているため、会社で不利益な取り扱いをされること	828 24.9%	117 30.3%	57 33.5%	324 26.2%	14 35.0%	1340 26.0%
その他	25 .8%	5 1.3%	2 1.2%	2 .2%	1 2.5%	35 .7%
わからない	288 8.7%	40 10.4%	13 7.6%	146 11.8%	3 7.5%	490 9.5%
特になし	621 18.7%	65 16.8%	28 16.5%	200 16.2%	9 22.5%	923 17.9%

平成 27 年度構成労働科学研究費補助金（労働安全衛生総合研究事業）
「ストレスチェック制度による労働者のメンタルヘルス不調の予防と職場環境改善効果に関する研究」
(H27-労働一般-004) 主任：川上憲人

分担研究報告書

全国調査によるストレスチェック制度の効果評価：事業場調査

主任研究者 川上憲人（東京大学大学院医学系研究科・教授）
研究協力者 永田智久（産業医科大学 産業生態科学研究所産業保健経営学研究室・助教）
栗林一人（東京大学大学院医学系研究科・院生）

目的：本研究では、事業場を単位とした調査を行い、ストレスチェックの制度の実施状況とこれにともなう費用、ストレスチェック制度がメンタルヘルス不調の状況、事業場のメンタルヘルス対策への意識と活動への影響を明らかにする。平成 27 年度には、義務化前のストレスチェックの制度の実施状況とこれにともなう費用を調査するとともに、ストレスチェック制度の効果の評価するためのベースラインデータの収集を行った。

方法：50 人以上の労働者を雇用する企業を対象として、郵送法（全数ハガキ督促 1 回）による調査を行った。調査実施期間は平成 27 年 11 月 18 日～平成 28 年 2 月 16 日である。事業所の基本的属性、ストレスチェックの実施状況、ストレスチェックに関わる費用について質問し、ストレスチェックに関する費用を推計した。

結果：事調査対象となった 4500 社のうち回答は 454 件（回収率 10.1%）であった。過去 5 年間にストレスチェックを実施した事業場は 90 社（19.8%）あった。ストレスチェックに回答した従業員の割合は 80% 以上が 3/4 を占めていた。面接指導の対象となった者の割合は 5% 未満が最も多かった。ストレスチェック後の職場環境改善活動は 53% の企業で実施されていた。ストレスチェックの実施経費合計は、中央値で 39 万 7330 円、平均値で 164 万 1646 円であった。従業員 1 人あたりの実施経費合計は、中央値で 585 円、平均値で 1875 円であった。実施経費では、産業保健スタッフの人件費および調査への回答時間の間接人件費多くを占めていた。事業場規模別に集計した場合には、従業員 1 人あたりの合計費用は規模が小さいほど高額になっていた。

結論：回答率が低く、またストレスチェックの経費に関する回答への誤記入などの問題はあるが、本調査によりストレスチェックの実施経費の合計額およびその内訳が推定された。本調査で推計したストレスチェックの推定費用は、今後の費用便益分析で利用していく予定である。

A. 研究目的

本研究では、事業場を単位とした調査を行い、ストレスチェックの制度の実施状況とこれにともなう費用、ストレスチェック制度がメンタルヘルス不調の状況、事業場のメンタルヘルス対策への意識と活動への影響を明らかにする。平成 27 年度には、義務化前のストレスチェックの制度の実施状況とこれにともなう費用を調査するとともに、ストレスチェック制度の効果の評価するためのベースラインデータの収集を行った。

B. 対象と方法

1. 対象

50 人以上の労働者を雇用する企業を対象として、郵送法（全数ハガキ督促 1 回）による調査を行った。調査実施期間は平成 27 年 11 月 18 日～平成

28 年 2 月 16 日である。標本抽出方法は、従業員規模区分別に下記の通りとした。

- 1) 50～299 人の従業員を雇用する企業・・・1,500 社
- 2) 300～999 人の従業員を雇用する企業・・・1,500 社
- 3) 1000 人以上の従業員を雇用する企業・・・1,500 社

対象企業には、「あなたの企業のうち事業場を 1 つ選んでください（本社事業場でも結構です）」と依頼した。また「人事労務担当の方（できれば課長か係長クラスの方）がご記入ください。一部は健康管理部門の担当者にご記入いただいても結構です。」とした。届いてから 1 週間以内に返送を求めた。

2. 調査項目

1) 事業所の基本的属性

所在地、本社か支社・出張所か、業種、従業員数（常勤のみ）、産業保健専門職の雇用についてたずねた。

2) ストレスチェックの実施について

この調査では、法による義務化以前に、ストレスチェックを実施しているかどうかたずねた。

まず従業員に対するストレスチェックを過去5年間に実施したかどうかをたずね、実施した場合には、定期健康診断の機会に併せて実施したかどうか、実施した専門職の種別、ストレスチェックに回答した従業員の割合、面接指導の対象となった者の割合、そのうち面接指導を受けた従業員の割合をたずねた。

3) ストレスチェックに関わる費用について

過去1年間(平成26年12月～平成27年11月)の事業場の産業保健活動に関わる費用等について知るために、付録1に示す変数を質問した。

管理職、一般社員の人数をたずねた。

(1) 産業保健スタッフの人件費

産業保健スタッフ（産業医、保健師・看護師、心理職、関連する事務員など）の年間人件費についてたずね、さらにこれらのスタッフが平均して健康管理業務に従事する割合（%）、平均の健康管理業務の中でメンタルヘルス対策に従事する割合（%）、平均健康管理業務の中でストレスチェック業務に従事した割合（%）を回答してもらった。

(2) 専門職の教育研修費用

ストレスチェックの業務に関して、産業保健スタッフに対する教育・研修、学会参加にかかった費用を回答してもらった。

(3) ITシステムの減価償却費

ストレスチェック業務実施のために、ITシステムの作成や改修を行った場合、その1年間の減価償却費を記入してもらった。

(4) 物品費

1年間のストレスチェックの実施に関わる物品費（印刷費、封筒代など）を回答してもらった。

(5) 外部委託費

1年間のストレスチェック業務に関わる外部委託費は従業員1人当たりいくらか回答してもらった。

(6) 間接人件費（ストレスチェックへの回答）

ストレスチェックを実施する際に、従業員1人あたりどの程度時間がかかるか回答してもらった。この時間に、平均賃金を乗じて、ストレスチェックへの回答による間接人件費を計算した。

(7) ストレスチェック後の面談

ストレスチェックの後の面談のうち産業医によるものの件数と1人あたりの面談時間をたずねた。またストレスチェック後の保健師・看護師、心理士等（産業医以外）の面談の件数、1人あたりの面談時間をたずねた。

(8) 事後対応の外注費

ストレスチェック後の事後対応（面接指導や相談窓口）を外部委託している場合、1年間の外部委託費（従業員1人当たり）をたずねた。

(9) 職場環境改善活動経費

事業場において、ストレスチェックの結果をもとに何らかの職場環境改善のための活動を行った場合には、以下の項目をたずねた。経営層への報告と説明、管理監督者むけ説明や研修、従業員参加型の職場環境改善、その他の職場環境改善について、1回あたりの経営幹部層、管理監督者、その他の従業員の参加人数、1回あたりの時間、1年間の実施回数。

3. ストレスチェックに関する費用の計算

以上の質問への回答から付録2に示すような計算式でストレスチェックに関する費用の計算を行った。平成26年賃金構造基本統計調査の情報を使用し、平均賃金は2260円とした(1)。計算式は、1人1時間あたりの人件費＝（きまって支給する現金給与額）/（(所定内実労働時間数) + (超過実労働時間数)）+（年間賞与その他特別給与額）/2/（(所定内実労働時間数) + (超過実労働時間数)）である。

C. 結果

1. 事業場および労働者の基本的属性

調査対象となった4500社のうち、調査完了数は454件（回収率10.1%）であった。今後の追跡調査に同意した事業場は389件であった。

約1/3が関東地方の事業場であった（表1）。91%が本社であった。業種は製造業が19%と最も多く、ついで医療・福祉行であった。従業員数は100-299人、300-999人、1000-4999人がほぼ同数であった。50人未満の事業場が少数(6.7%)であったのは、対象企業抽出から調査時点までに従業員数が変化した可能性、あるいは企業が50人未満の事業場を代表として選んだ可能性がある。産業区分では第3次産業が約半数を占めていた。産業医を選任している事業場は78%、保健師・看護師を雇用している事業場は46%であった。

2. メンタルヘルスの取り組み

メンタルヘルスの取り組みについては、心の健康づくり計画を立案している事業場は全体の19%であった（表2）。メンタルヘルスの実施事項につ

いては、いずれも約半数の事業場が対策を実施していた。ポジティブなメンタルヘルスや職場の活性化のための活動は14%であった。過去1年間でメンタルヘルス不調により連続1ヶ月以上休業した従業員がいた事業場は56.5%であった。94.4%の事業場が、メンタルヘルス対策を大変、あるいはいくらか重要と認識していた。今後のメンタルヘルス対策の方向性については77.6%がさらに拡充させる方向であると回答していた。

3. ストレスチェックの実施について

過去5年間にストレスチェックを実施した事業場は90社(19.8%)あった(表3)。70%が健康診断以外の機会に実施していた。実施者は産業医が関与する場合は43%と多かった。ついで保健師・看護師(34%)であった。

ストレスチェックに回答した従業員の割合は80%以上が3/4を占めていた。回答した従業員のうち面接指導の対象となった者の割合は5%未満が最も多かった。高ストレス者のうち面接指導を行った者の割合は5%未満との回答が多かった。しかしこれは質問を、面接指導を行った高ストレス者を回答者で割った場合と勘違いされた可能性もあるので注意が必要である。ストレスチェック後の職場環境改善活動は53%の企業で実施されていた。

4. ストレスチェックに関わる費用について

1) 計算方法の修正

ストレスチェックに関わる費用の計算においてはデータを見直した結果、2点修正を加えた。まず産業保健スタッフの人件費を確認したところ、事業場規模に比して産業医の人件費が過大であった事業場が2件あったため、これを除外した。また外注費(事後対応)を確認したところ、事業場規模に比して過大である場合がみられた。この理由の1つとして、回答者が事後対応外注費「所属従業員1人あたり」ではなく、「高ストレスとなった従業員1人あたり」で記載した可能性、あるいは従業員1人あたりとの回答指示を見落として年間総額を記入した可能性があると考えられた。この項目への回答の信頼性が低いと判断し、今回のストレスチェックに関わる費用の計算からは、外注費(事後対応)を除外した。

2) ストレスチェックに関わる費用

ストレスチェックの実施経費合計の分布は左(低費用)に頻度が高く、右(高費用)に長く尾をひく分布であった。実施経費合計は、中央値で39万7330円、平均値で164万1646円であった(表4-1)。従業員1人あたりの実施経費合計は、中

央値で585円、平均値で1875円であった。実施経費合計の内訳では、人件費が59万1563円(平均値)、間接人件費(調査回答)が65万9426円とそれぞれ約1/4づつを占めていた。

事業場規模別に集計した場合には、合計費用は規模が大きくなるほど高額になっていた(表4-2)。従業員1人あたりの合計費用は、中央値でみる場合には事業場規模によって一定の傾向はなかった。しかし平均値でみると、299人以下の事業場の方がより高額になっていた。299人以下および300-999人の事業場では合計費用に占める人件費(産業保健専門職等)の割合が60%程度と大きかった。1000人以上の事業場ではこの割合は30%程度と小さく、間接人件費(調査回答)の占める割合が42%と大きかった。

D. 考察

本調査の回収率は当初20%を見込んでいたが、予想以上に低く、10%程度となった。これは調査票の内容が職場のメンタルヘルス対策の実施状況からその費用にまで多岐にわたり、1部門(例えば人事労務だけとか、健康管理だけ)では回答がしにくく、回答率が低くなった可能性がある。また費用についても詳細な調査を行ったため、回答が難しいと判断された可能性もある。結果の解釈においては回収率が低かった点について注意しておく必要がある。

過去5年間にストレスチェックを実施した企業は90社あった。70%が健康診断以外の機会に実施していた。実施者は産業医、保健師・看護師が関与する場合は多かった。ストレスチェックに回答した従業員の割合は80%以上が3/4を占めていた。しかし一方で40%未満の事業場も少数見られた。法制化されたストレスチェック制度の実施においても従業員の受検率を保つことには留意すべきである。

回答した従業員のうち面接指導の対象となった者の割合は5%未満が最も多かった。法制化されたストレスチェック制度でも従業員の5%程度を高ストレス者の目安としており、実態と合ったものとなっていると思われた。しかし5-10、10-20%という回答も一定数みられた。高ストレス者が1-2割までに達する場合もあることを想定しておくことが望ましい。高ストレス者のうち面接指導を行った者の割合は5%未満との回答が多かった。質問を、面接指導を行った高ストレス者を回答者で割った場合と勘違いされた可能性もある。これを除けば80%以上とする回答が最多であった。今回回答した事業場では高ストレス者の多くが面接指導を受けることに前向きであったと思われた。

ストレスチェック後の職場環境改善活動は約半

数の企業で実施されていた。

ストレスチェックに関わる費用については、調査項目が複雑であったために、正確な集計とするにはいくらか問題があると思われた。今回の集計値は誤差を含んだものと考えべきである。産業医の年間人件費については事業場規模に比べて過大な回答があった事業場は推計から除外することとした。また外注費（事後対応）では正確に質問が理解されているかどうか不明であったため、今回の推計からはこの費目を除外した。このためストレスチェックに関する合計費用は過小評価されている可能性がある。しかし本調査によりストレスチェックの費用がはじめて推計されたことには意義がある。

ストレスチェックの合計費用は中央値で約 39 万 7 千円、平均値で約 164 万 2000 円であった。従業員 1 人あたりの合計費用は中央値で 585 円、平均値で 1875 円であった。合計費用の内訳では、産業保健スタッフの人件費とストレスチェックへの回答に要する時間分の従業員の間接人件費が占める割合が高かった。これらがストレスチェックの必要経費の大きな決定要因になっていると思われる。

事業場規模が小さい場合には、従業員 1 人あたりの合計費用の平均値が高い傾向にあった。また事業場規模が 999 人以下の場合には、ストレスチェックの合計費用に占める産業保健スタッフの人件費が占める割合が 6 割程度と高かった。中規模の事業場では固定費用としての産業保健スタッフの人件費が従業員人数に比して相対的に高額になるために、従業員 1 人あたりのストレスチェック経費が高くなりやすいと考えられた。

ストレスチェックに関わる個別の費用および合計費用は、大きく左にひずんだ分布をとっていた。このために標準偏差はきわめて大きなものになっている。これは事業場によって安価に実施しているケースが多い一方で、比較的高額な費用をかけて実施しているケースがあることによる。また事業場によってストレスチェックの方式が異なり、ある費用は 0 に、ある費用は高額になっていることが影響している。ストレスチェックの方法により費用の構造が異なる場合もあることを念頭においておく必要がある。

本調査で推計したストレスチェックの推定費用は、今後の費用便益分析で利用していく予定である。

E. 結論

本研究では、事業場を単位とした調査を行い、ストレスチェックの制度の実施状況とこれにともなう費用、ストレスチェック制度がメンタルヘル

ス不調の状況、事業場のメンタルヘルス対策への意識と活動への影響を明らかにする。平成 27 年度には、義務化前のストレスチェックの制度の実施状況とこれにともなう費用を調査するとともに、ストレスチェック制度の効果を評価するためのベースラインデータの収集を行った。

50 人以上の労働者を雇用する企業を対象として、郵送法による調査を行った。調査実施期間は平成 27 年 11 月 18 日～平成 28 年 2 月 16 日である。事業所の基本的属性、ストレスチェックの実施状況、ストレスチェックに関わる費用について質問し、ストレスチェックに関する費用を推計した。

事調査対象となった 4500 社のうち回答は 454 件（回収率 10.1%）であった。過去 5 年間にストレスチェックを実施した事業場は 90 社（19.8%）であった。ストレスチェックに回答した従業員の割合は 80%以上が 3/4 を占めていた。面接指導の対象となった者の割合は 5%未満が最も多かった。ストレスチェック後の職場環境改善活動は 53%の企業で実施されていた。ストレスチェックの実施経費合計は、中央値で 39 万 7330 円、平均値で 164 万 1646 円であった。従業員 1 人あたりの実施経費合計は、中央値で 585 円、平均値で 1875 円であった。実施経費では、産業保健スタッフの人件費および調査への回答時間の間接人件費多くを占めていた。事業場規模別に集計した場合には、従業員 1 人あたりの合計費用は規模が小さいほど高額になっていた。

回答率が低く、またストレスチェックの経費に関する回答への誤記入などの問題はあがあるが、本調査によりストレスチェックの実施経費の合計額およびその内訳が推定された。本調査で推計したストレスチェックの推定費用は、今後の費用便益分析で利用していく予定である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

I. 引用文献

1. 平成 26 年賃金構造基本統計調査

http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_&tstatCode=000001011429